

# 空手道詳説（40）

## 第2章 沖縄史の概説

### 4 沖縄史の概略（その7、琉球の言語と文化）

#### （1）沖縄の言語

##### ケ 沖縄新方言（ウチナーヤマトグチ）

##### 2) ウチナーヤマトグチの語彙など

ウチナーヤマトグチといわれる言語の中から、日常会話に使われやすい語彙等を以下に例示してみる。

その中には、元々使われていた方言の形を色濃く残すものや、その古い方言から変化したもの、標準語や英語からの借用（中国語も含まれている）があって、実に巧みに構成されており、面白味さえ感じるのは筆者だけではないと思ひ。

次の枠内の語韻変化は、外間守善（1924～2012年、法政大学名誉教授、琉球文学・文化研究者）の著書「沖縄の歴史と文化」99頁からの引用で、沖縄語の特徴的な音韻の変化を示している。簡潔なので、参考にされれば理解が深まること必定である。

変化のない a, i, u の母音と語形								
		垢	石	歌	肩	草	塵	機
a								
i	東京	aka	ifi	uta	kata	kusa	tjiri	hata
u	那覇	aka	ifi	uta	kata	kusa	tjiri	hata

  

琉球方言で e が i に変化した語形						
		雨	米	実	手	船
e						
i	東京	ame	kome	sane	te	rune
i	那覇	ami	kumi	sani	ti:	runi

  

琉球方言で o が u に変化した語形						
		帯	雲	心	布	夜
o						
u	東京	obi	kumo	kokoro	nuno	joru
u	那覇	u:bi	kumu	kukuru	nunu	juru

  

母音三角形

- ・ ウチナータイム：沖縄時間。時間にルーズなことを自嘲的にいう。
- ・ ナイチャー：内地人。本来ならば「チュー」だが「～チャー」と変化。元は「内地者」のような差別的俗語であった。
- ・ 島ナイチャー：沖縄在住の本土出身者。自分の意志で移住し、沖縄の風土に染まった人。
- ・ キリュウミン：旧来の住民と異なる移住者。「寄留民」から。
- ・ ガジャー：嫌な臭い。「香り」又は「嗅ぐ」からの転訛語。
- ・ ヒーラー：ゴキブリ。 ・ ヤールー：ヤモリ。 ・ ガジャン：蚊。
- ・ カジ：風。 ・ ティーダアミ：天気雨。
- ・ カタブイ：通り雨。片方で雨が降っているのに、他方では晴れている「片降り」。
- ・ チム：肝、心臓。心臓どきどきを「チムダクダク」という。
- ・ チムグクル：真心。 ・ クンチ：根気。
- ・ マブイ：人としてあるべき振舞い。語源は「真振り」。
- ・ ウチナージラ：沖縄人独特の顔立ちのこと。「ジラ」は「面（つら）から。」
- ・ チュラカーギー：美しい顔立ち、美人。「チュラ」は美しいで、「清ら顔」から。
- ・ ヤナカーギー：嫌な顔。 ・ ドウシ：友達。「同士」から。
- ・ チブル：頭。日本語の「つむり」から。 ・ オウチ：住居。「お家」から。
- ・ カチャーシー：かき回し。 ・ イングワー：犬。 ・ マヤー：猫。
- ・ ウワー：豚。 ・ ビンジャー：山羊。「髭のあるもの」から。
- ・ ユクサー：嘘をつく人。 ・ フューナー：怠け者。
- ・ ドゥー：自分。ドゥーカッティは自分勝手なこと。
- ・ ジージャー：年上、先輩。 ・ ジリー：同じ年。 ・ チューバー：強者、勇者。
- ・ ヨーバー：弱虫。 ・ ワラバー：童、子供。
- ・ ワラバサー：腕白、いたずらっ子。 ・ ウマンチュ：みんな、万人。
- ・ ニーニー：お兄さん。 ・ ネーネー：お姉さん。 ・ ユクイ：休憩、ゆっくり。
- ・ ヒザマズキ：正座。「ヒザマンチュ」という方言から。但し、「セイザ」は坐位から姿勢を正すことで、足を畳んでの座すことを意味しない。
- ・ ハジカサー：恥ずかしい。「ハジカサーする」恥ずかしがる。
- ・ フージー：～のようなもの。「風情」から。
- ・ グワーシー：～っぽい、～まがいの、～かぶれな。「～がわしい」から。
- ・ クスイムン：薬もの、薬膳料理。 ・ イリチー：炒め煮。「炒り付け」から。
- ・ チャンプルー：野菜炒め物。「ごちゃ混ぜ」を意味し、「ちゃんぼん」に由来し、沖縄で「チャンポン」は別の料理。
- ・ ンブシー：蒸し煮。 ・ ウメーシ：箸。「御前箸」から。
- ・ マース：塩。「真塩」から。 ・ シシ：肉。日本古語でも肉は「シシ」である。
- ・ チビチ：豚足。本来の意味は、煮込み料理を意味する「手引き」から。
- ・ ジューシー：雑炊、炊込みご飯ごはん。雑炊飯は「ジーシーメー」いう。

- ・ ゴーヤー：ニガウリ、レイシ。 ・ デークニ：大根。
- ・ ナーベラー：糸瓜。「鍋洗い」に由来。 ・ チデアクニ：人参。「黄大根」から。
- ・ タマナー：キャベツ。「玉菜」から。 ・ マーミナー：もやし。「豆菜」から。
- ・ ジーマミー：落花生。「地豆」から。 ・ スヌイ：モズク。「酢海苔」から。
- ・ イマイユ（今魚）：鮮魚。イユは古語の「魚（いお）」に由来。魚屋のことは「サシミヤ（刺身屋）」という。 ・ カチュー：鰹。「かつお」から。
- ・ カラス（辛塩）：塩辛、塩漬け。イカの黒造りは「イチャガラス」。
- ・ イラブー：エラブウミヘビ。燻製に加工したものを薬膳料理とする。
- ・ ウッチン：鬱金（うこん）。鬱金の沖縄読み。 ・ サンピン茶：ジャスミン茶。
- ・ 支那そば：ラーメンや中華そばではなく、「沖縄そば」のこと。
- ・ ギュウカン：牛肉缶詰、コンビーフ。牛肉缶詰を指す戦前の日本軍用語から。
- ・ バター：マーガリン。沖縄では本物のバターは滅多に使わない。
- ・ ユイマール：地域での助け合い、相互扶助の制度。「結い回る」から。
- ・ トートーメー：位牌。「尊御前（尊い御前（おんまえ）」）から。
- ・ スーコー：法事、葬儀。「焼香」から。 ・ スージ：祝い事。「祝事」から。
- ・ ウートートー：お祈り。祈りを捧げるときの「おお尊い」から。
- ・ ニービチ：結婚。他の家から女を連れてくる「根引き」から。
- ・ ジレン：自動車教習所。「自動車学校」の略として「自校（ジコウ）」という言葉もある。 ・ ハーヤー：歯医者。 ・ ダンパチャー：断髪屋、床屋、理髪店。
- ・ イザリ、イジャリ：漁獵、潮干狩り。 ・ テイガクネン：小学校1~3年生。
- ・ ワン：私、僕、俺。私は「ワンネー」、私たちは「ワッター」。
- ・ ヤー：君、貴方、お前。複数形は「イッター」「ヤッター」となる。
- ・ ワーラー：水。Water から。冷水はアイスワーラー。
- ・ ポーク：ランチョンミート。缶詰のそれに限った呼称で、豚肉でない場合も使う。
- ・ トーナ：鮪の缶詰。Tuna ・ ストゥー：缶詰のシチュー、stew から。
- ・ オープン：栓抜き。Opener から。 ・ バフェ：食べ放題。Buffet から。
- ・ パーリー：パーティー、party から。 ・ ペイデイ：給料日。Payday から。
- ・ シャープ：お店。Syop からで、「コーヒーシャープ」は喫茶店、「モーターシャープ」は自動車店。 ・ エグ：卵。食堂メニューも「エッグ」でない。
- ・ ピーア：ピザ(pizza)。 ・ ターコー：タコス (tacos)。
- ・ フライライス：焼き飯 (fried rice)。 ・ ティー：紅茶 (tea)。
- ・ エンダー：沖縄に展開するファーストフード店の「A&W」から。
- ・ ワイファー：ウエハース (wafer)。
- ・ ハットソース：唐辛子入りソース (hot sauce)、米国の商品名から。
- ・ カルテックス：ガソリンスタンド。販売店名から。
- ・ コルゲート：歯磨き剤。米国の「Colgate Palmolive」社の商品名から。
- ・ フラー：愚か者。「惚れる」からで、「フリムン」は惚れ者。

- ・ ニーブヤー：眠い、反応の遅い者。 ・ トロー：とろい人、ほけた人。
- ・ ジンブナー：利口な人、頭のいいひと。「知恵」のジンブンから。
- ・ ヒンガー：不潔な人。沖縄語の垢「ヒング」＋「アー」。
- ・ ビジュルー：冷酷な人、自分勝手な人。沖縄語で「ビジュル」は冷たい。
- ・ アシバー：遊び人、不良、ごろつき。沖縄語の遊び「アシビ」＋「アー」。
- ・ アミリカー：アメリカ人、米軍人。 ・ ナイチャー：本土（内地）の人。
- ・ ヤンバラ：沖縄島北部（山原・ヤンバル）の人。
- ・ ナークー：宮古人。宮古島のことを「マーカー」という。
- ・ ユクル：休憩する。「ゆっくり」から。
- ・ シカマス：驚く、びっくりさせる。沖縄語で驚くの「シカムン」から。
- ・ ドウマンギル：びっくりする。沖縄語の非常に驚くの「トゥンモーイン」から。
- ・ チャラメカス：野菜などを油で炒める。「ちょろまかす」の訛りで、本来は「適当にごまかす」の意。
- ・ バッペーテル：間違っている。沖縄語の間違い「バッペー」から。
- ・ ワジル：怒る。「ワジワジーする（イライラ）する」の略。
- ・ ナーカノーイ：仲直り、和解。「仲のいい」から。
- ・ ニリル：だりる、面倒くさがる。ニリーサーは面倒くさがり屋
- ・ チレル：平常でない心理状態、本当に怒った様、マジ切れ。「切れる」から。
- ・ カナサン：愛している。古語の「愛（かな）しい」の琉球語形。名詞形は「カナサ」。
- ・ チバル：気張る、頑張る。「チバリョー！」は頑張れよ。
- ・ ヒンギル：逃げる。 ・ カム：食べる、噛む。 ・ アワテル：急ぐ、慌てる。
- ・ アルク：歩く。 ・ アルカス：歩かす、運転する
- ・ アゲル：自分にくれる、貰える。「差し上げる」から。 ・ アマル：時が過ぎる。
- ・ テーゲー：適当、アバウト、いい加減。「大概」の琉球語読み。
- ・ ジョートー：上等、良い、カッコいい、可愛い。「イッページョートー」が一番上等となる。
- ・ マーサン：美味しい。「旨（うま）さん」の訛りで、「イッペーマーサンドー」はすごく美味しいとなる。
- ・ アジクター：味が濃い、ダシがよくきいている。
- ・ アチコーコー：熱々の状態。主に飲食物について用いられる
- ・ チュファーラ：満腹。おなかがいっぱい。中国語の「吃饱了」に由来。
- ・ ガンジュー：健康な。丈夫な、頑丈。「頑丈」から。おげんきですか？は「ガンジューネエ？」となる。 ・ マギー：大きい。
- ・ イッペー：いっぱい、沢山。一杯（量の多いさま）から。
- ・ ナンギ：疲れた。本来の「難儀」の意味からは多少違う。
- ・ カシマシイ：うるさい、鬱陶しい。本来は「騒がしい」で、ここでは面倒くさい、煩雑ななどの意で使われる。

- ・ インチキ：ずるい。不公平。不正などの意味ではなく、自分に不利益であることを指す。
- ・ ヘンナー：気恥ずかしい、なんとなくおかしい。「変な」から。
- ・ ニリー：面倒くさい。
- ・ フィーサン：寒い。「冷え+サン」から。
- ・ アチサン：暑い。
- ・ デージ：大事。
- ・ グワァー：「～ちゃん」に近いニュアンス。「小」と書き、親しみを表す接尾語。
- ・ ～イミソーレ：～しなさい。
- ・ ダアル：そうだ、そのとおり。
- ・ ～ダワケサー：～なんだよ
- ・ アキサミヨーハッサミヨー：ありやなんてこった。

(つづく)

### 参考文献等（発行年月は著書に記載のまま）

- ・ 藤原稜三著「格闘技の歴史」、1990年3月30日第1版、ベースボールマガジン社発行
- ・ 上地完英監修「詳説沖縄空手道」、1977年11月1日上地流空手道協会発行
- ・ 宮城栄昌著「沖縄の歴史」、昭和43年11月26日初版、日本放送出版協会発行
- ・ 新里恵二著「沖縄史を語る」、1970年9月1日初版、(株)勁草書房発行
- ・ 池田奉秀著「古流現代空手道集義第一巻」、昭和50年7月25日初版、日本空手道常心門出版部発行
- ・ 喜納大作、上里隆史共著「琉球王国のすべて」、2012年6月20日初版、(株)河出書房新社発行
- ・ 上里隆史著「オモシロ琉球・沖縄史」2011年6月25日初版、(株)角川学芸出版発行
- ・ 外間守善著「沖縄の歴史と文化」1686年4月25日初版、(株)中央公論新社発行
- ・ 比嘉朝進著「歴史・伝説にみる沖縄女性」2005年12月初版、那覇出版社
- ・ 「空手道・保存版」、執筆者・大塚博紀他31名、昭和52年3月初版発行、株式会社創造
- ・ 山里永吉著「首里城内の女たち」昭和47年4月20日初版、閣文社発行
- ・ 沖縄県教育庁文化課編集「中山世鑑」昭和57年10月15日、沖縄県教育庁発行
- ・ 井沢元彦著「日本史集中講座」、平成19年6月20日初版、祥伝社発行
- ・ 金城昭男著「空手伝真録」、初版平成11年7月10日、沖縄図書センター発行
- ・ 埴原和郎著「日本人の骨とルーツ」、初版平成9年9月30日、角川書店発行
- ・ 内間直仁・野原三義編著「沖縄語辞典」、初版2006年5月、株式会社 研究社発行